

2023年度第1回理事会議事録

2023年4月21日（金）17時00分～18時45分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10名中9名出席

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2名中1名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.120の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、25-4号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

審議事項において報告が行なわれる。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が開催予定であると報告が行われた。

齊藤代表理事より下記の通り報告された。

● その他研究委員会から

・倫理教育講習会が6月5日13時～14時に行われる。

・研究室の紹介

● 業務執行報告

石田理事より、2022年10月～2023年3月の業務執行報告が下記の通り行われた。

①新型コロナウイルス感染症対策について

②「学芸員によるガイドツアー」を1月から定例イベントにしたことについて

③「戦後世代による空襲体験の継承講話」の開催

④春期企画展の開催

⑤「東京大空襲を語り継ぐつどい」の開催

⑥「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2023」の開催

⑦3月10日、ハーブによる東京大空襲鎮魂演奏の開催

⑧3月10日に合わせて、防空壕の模型を作製、展示

⑨学芸員を定款へ表記し、就業規則、関連規定の改定

⑩過半数代表の選出選挙の実施、三六協定の締結

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

①ギャラリートークの開催

②運営委員の再任について

● 常勤職員の雇用について

齊藤代表理事より、遠藤あかり氏と所員雇用契約を締結したことが報告された。

● 業務請負契約について

澁谷朋樹氏と『政経研究時報』の業務について業務請負契約を締結したことが報告された。

● 2022年度事業報告書

齋藤正美理事より、2022年度事業報告書について報告が行われた。

● 理事・評議員の人事について

齊藤壽彦代表理事より、理事・評議員人事の素案について報告が行われた。

[審議事項]

第1号議題 研究費配分について

齊藤壽彦代表理事と齋藤正美理事より、2023年度研究費配分案について報告が行われ、同案の承認を求めた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成で、同案を可決した。

第2号議題 公開研究会について

齊藤壽彦代表理事より、2023年6月12日14時～16時30分より、奥村皓一氏を報告者として、「米中の覇権争いと日米安保同盟の現代化（仮題）」をテーマに、オンライン・オフライン併用による、公開研究会を開催するとの提案が行われた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成で、同案を可決した。

次回理事会については2022年5月19日17時より開催する。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年 4月 28日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 太田 三郎



柳 啓明



出席監事 國吉 昌晴



(監事)



2023 年度第 2 回理事会議事録

2023 年 5 月 19 日（金）17 時 10 分～19 時 10 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター 映像・講話室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる常態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事 10 名中 9 名出席（大岡聡、太田三郎、長谷川元彦はWeb会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2 名中 1 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、大岡理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.120 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、26-1 号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023 年 6 月 12 日 14 時～16 時 30 分、奥村皓一氏を報告者として、「米国の対中新冷戦と日米同盟」をタイトルに、研究所とオンラインで開催するとの報告が行なわれた。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、下記の研究会が開催予定であると報告が行われた。

① 2023 年 5 月 29 日（月）18 時 30 分～、金融問題研究室・中小企業問題研究室共催研究報告、角信明本研究員、「『国の財務書類』の研究—国富全体を踏まえた評価の試み—」

● その他研究委員会から

・倫理教育講習会が 6 月 5 日 13 時～14 時に行われる。

・前回理事会で決定された研究費を配分した。

・『中小企業問題』総目次が完成した。

・時報の発行間隔を一か月早め、印刷と発送は事務局で行なう。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

①館長が YouTube チャンネル「ONLYinJAPAN」の取材を受けた。②来館者数は回復するもコロナ前の水準ではない。外国からの来館者が増えた。③大滝夢夏氏が受付スタッフとして採用される。④ギャラリートークを行なった。⑤「語り継ぐ集い」の会計報告。⑥ガイドボランティア向けの継承者募集の審議。⑦東京大空襲 80 年に向けての目標。⑧公益財団法人東京観光財団の国際化支援補助金について。

● 代表理事業務執行報告

理事会・評議員会の開催、人事・財務・対外発信の決裁、『政経研究』編集委員会にオブザーバーとして参加、『政経研究』奨励賞選考委員として選考業務を担当、研究委員会委員長として研究部門の諸課題を検討、『政経研究時報』のチェック、倫理教育講習会の講師を担当、ホームページリニューアル、初午の行事に参加。

● 業務執行理事業務執行報告（齋藤正美）

理事会の提案書と関連資料の作成、評議員会の提案書と事業計画の作成、『政経研究』編集業務、文科省への提出書類、事務局長病欠後の事務局会議召集、職員の 2023 年度雇用契約書の作成、大規模修繕準備委員会の立ち上げと運営、書庫の整理、HP のリニューアル。

[審議事項]

第 1 号議題 評議員会の開催について

議案 1 開催日について

理事会は、2023 年 6 月 15 日 17 時より評議員会を開催することを、有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

議案 2 開催場所について

理事会は、評議員会の場所を政治経済研究所 1 階映像・講話室とすることを、有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

第 2 号議題 2022 年度 6 月定期提出書類について

議案 1 2022 年度事業報告書

齋藤正美・石田博美両業務執行理事は、2022 年度事業報告書の内容について報告を行ない、同報告書を評議員会に提出しても良いか理事会に審議を求めた。

理事会は、審議の結果、修正が必要な点を踏まえたうえで、2022 年度事業報告書およびその提出を、有効議席 8 名中 8 名の賛成で可決した。

議案 2 2022 年度決算書

長谷川理事は、2022 年度の決算書（貸借対照表、正味財産増減計算書総括表）について報告し、同決算書を評議員会に提出しても良いか理事会に審議を求めた。

理事会は、審議の結果、有効議席 8 名中 8 名の賛成で 2022 年度決算書およびその提出を可決した。

議案 3 監事監査報告書

國吉監事は、2023 年 5 月 14 日に行なわれた監事監査について、監事監査報告書の内容に沿って報告し、会計・業務ともに適正であることを説明した。そのうえで、理事会

に監事監査報告書を評議員会に提出しても良いか審議を求めた。

理事会は、審議の結果、有効議席 8 名中 8 名の賛成で、監事監査報告書およびその提出を可決した。

第 3 号議題 評議員、理事、監事の改選について

議案 1 評議員について

齊藤壽彦代表理事は、下記の通り評議員の人事案を示し、これを評議員会に提出しても良いか理事会に審議を求めた。

再任: 上原淳子、大日方純夫、北村浩、萩原伸次郎（登記上の名前: 平野伸次郎）、
星野輝夫、山田朗
新任: 姉齒暁、上野教信、吉田敬一、木下雅英、工藤教和、合田寛

理事会は、審議の結果有効議席 8 名中 8 名の賛成で、同人事案及びその評議員会への提出を可決した。

議案 2 理事について

齊藤壽彦代表理事は、下記の通り理事の人事案を示し、これを評議員会に提出しても良いか理事会に審議を求めた。

再任: 石田博美、大岡聡、太田三郎、齊藤壽彦、齋藤正美、長谷川元彦、比江島大和
柳啓明
新任: 福光寛

理事会は、審議の結果有効議席 8 名中 8 名の賛成で、同人事案及びその評議員会への提出を可決した。

議案 3 監事について

齊藤壽彦代表理事は、下記の通り監事の人事案を示し、これを評議員会に提出しても良いか理事会に審議を求めた。

再任: 國吉昌晴
新任: 井上礎幸

理事会は、審議の結果有効議席 8 名中 8 名の賛成で、同人事案及びその評議員会への提出を可決した。

第 4 号議題 大規模修繕について

議案 1 大規模修繕委員会への移行

齋藤正美業務執行理事は、大規模修繕準備委員会を大規模修繕委員会に移行するとの提案を行ない、理事会に審議を求めた。

理事会は、審議の結果、有効議席 8 名中 8 名の賛成で、同提案を可決した。

議案 2 大規模修繕準備委員会の方針の継承について

齋藤正美業務執行理事は、大規模修繕委員会は大規模修繕準備委員会で決定された方

針、すなわち、白石秀樹一級建築士に修繕の設計及び施工を依頼する取り決めを継承するとの提案を行ない、理事会に審議を求めた。

理事会は、審議の結果、有効議席 8 名中 8 名の賛成で、同提案を可決した。

第 5 号議題 理事報酬の変更について

議案 1 理事報酬の増額について

石田博美業務執行理事より、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の第 3 条第 3 項が参照する別紙内の会議手当を 5000 円から 6000 円に変更するとの提案が行なわれた。

審議の結果、理事会は有効議席 8 名中 8 名の賛成でこの提案を可決した。

次回理事会については 2023 年 6 月 15 日 15 時より開催する。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。

以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。


2023 年 5 月 26 日

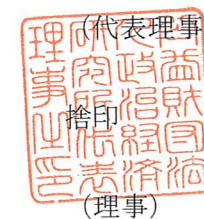
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦 

署名人 大岡 聡 

比江島大和 

出席監事 國吉 昌晴 


(代表理事)
捨印
(理事)


捨印


捨印

(監事)


捨印

2023年度第3回理事会議事録

2023年6月15日(木)15時00分～16時45分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いのできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦(議長) 石田博美 太田三郎 合田寛 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 柳啓明

理事10名中8名出席(太田三郎、比江島大和はWeb会議システムによる参加)

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2名中1名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、齋藤理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.120の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

合田理事より、26-1号および26-2号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表より、2023年6月12日(月)14時～16時30分に行われた2023年度公開研究会「米国の対中新冷戦と日米同盟」(報告者 奥村皓一氏 政治経済研究所主任研究員)が開催されたとの報告が行われた。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年5月29日(月)18時30分から行われた金融問題研究室・中小企業問題研究室共催研究報告について報告が行われた。

9月末に柳啓明を報告者に研究報告が行われると予告された。

● その他研究委員会から

・倫理教育講習会が2023年6月5日(月)13時～14時に行われた。

・ホームページのリニューアルの進捗状況が報告された。

・『中小企業問題』の総目次の編集については、欠号が発見されたため、追加作業を進めている。

・科研費支出について、献本のための書籍購入は、科研費の対象外であるとの考えを示した。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

①4月の来館状況、入館料・維持会員・維持募金等収益の状況。修学旅行が復調。②スタッフミーティングについて。③学芸員関連の報告。継承者育成事業に9名の応募等。④理事会の報告。⑤ニュースNo.43について。⑥運営員体制について。早乙女愛氏のオブザーバー参加。⑦公益財団法人東京観光財団が募集している補助金への応募検討。⑧朝日新聞にセンターに関連した記事の掲載があった。

● 澁谷氏との業務請負契約変更

2023年4月1日付、澁谷氏との業務請負契約を変更することが報告された。

同年7月1日～2023年9月30日を期間とする澁谷氏との業務請負契約について報告が行われた。

● 奨励賞選考委員名簿

齋藤正美理事より、2023年度奨励賞選考委員会の推薦者リストが下記の通り報告が行われた。

浦田賢治、枝松正行、櫛田豊、齊藤壽彦、齋藤正美、坂本正、土井日出夫。

● HPリニューアルの経過報告

齋藤正美理事より、HPリニューアルの経過報告が行われた。

[確認事項]

評議員会の次第について確認を行った。

[審議事項]

第1号議題 公開研究会について

議案1 2023年度第2回公開研究会について

齊藤壽彦代表理事より、狩野芳伸氏(静岡大学大学院情報学領域行動情報学系列准教授)を報告者に、「生成系AIは人々の仕事をどのように変えるのか——自然言語処理研究からみた可能性と限界」と題する公開研究会を、2023年8月26日または9月2日に開催するとの提案が行われた。

理事会は、審議の結果、有効議席7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 大規模修繕について

議案1 有限会社アーキッズとの契約について

齋藤正美理事より、大規模修繕委員会の審議内容が報告され、雨漏り改修工事については、(有)アーキッズ一級建築士事務所に依頼し、その発注契約ならびに支払いの権限を理事会に付託することについて、評議員会の承認を得るとの提案が行われた。

理事会は、審議の結果、有効議席7名中6名の賛成(1名保留)でこの提案を可決した。

次回理事会については、本日の評議員会の終了後に開催する。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年 6月 26日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 太田 三郎



齋藤 正美



出席監事 國吉 昌晴



(理事)



(監事)



2023 年度第 4 回理事会議事録

2023 年 6 月 15 日（木）19 時 00 分～19 時 20 分、東京都江東区北砂 1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 福光寛 比江島大和 柳啓明

理事 9 名中 8 名出席（太田三郎、比江島大和はWeb会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 井上礎幸 2 名中 2 名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

現行の齊藤壽彦代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、柳理事を選任した。

[審議事項]

第 1 号議題 理事会の体制について

議案 1 代表理事の選出について

齊藤壽彦議長は、次期理事長の互選を行うよう理事会に求めた。

理事会は、審議の結果、齊藤壽彦理事を理事長とすることを、有効議席 7 名 7 名の賛成で可決した。

定款第 27 条により理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の代表理事とする。

議案 2 業務執行理事の選出について

齊藤壽彦代表理事は、次期業務執行理事の選出について理事会に審議を求めた。

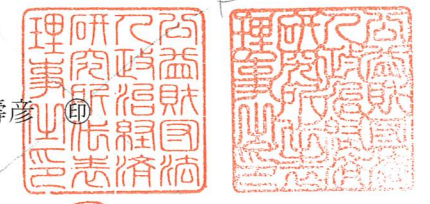
理事会は、審議の結果、齋藤正美理事と石田博美理事を業務執行理事とすることを、有効議席 5 名中 5 名の賛成で可決した。

次回理事会については 2023 年 7 月 21 日 17 時より開催する。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023 年 6 月 26 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 石田 博美



柳 啓明



出席監事 國吉 昌晴



井上 礎幸



(代表理事)

捨印



(理事)



(監事)



2023年度第5回理事会議事録

2023年7月21日（金）17時00分～18時20分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事9名中8名出席（太田三郎、比江島大和はWeb会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 2名中1名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、太田理事、比江島理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.120の発送とNo.121の進捗状況、連載特集のテーマ検討等について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-1号の発送および26-2号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表より、2023年9月2日（土）17時～19時、狩野芳伸氏を報告者として「生成系AIは人々の仕事をどのように変えるのか～自然言語処理研究からみた可能性と限界」を、参加費500円として、オンラインで開催することが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年9月30日14時～16時、柳啓明氏を報告者として、大島社会文化研究室による研究会「世界史のなかの八重山諸島：『国境地域』における明治期の開墾と製糖業」を開催することが報告された。

● その他研究委員会から

角信明研究員を執筆者として、中小企業問題研究室のResearch Paper「『国の財務書類』の研究―国富全体を踏まえた評価の試み―」を発行することが報告された。

● 研究委員会メンバー構成について

齊藤壽彦代表理事より、2023年7月～2025年7月の研究委員会メンバーが下記の通り報告された。

齊藤壽彦、齋藤正美、柳啓明、太田三郎、福光寛、澁谷朋樹、山中勇毅。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

①5月の来館状況、入館料・維持会員・維持募金等収益の状況。②レファレンス報告。③体験者の会の報告。④空襲体験の継承事業。⑤体験者の聞き取り事業。⑥学芸員による展示ガイドツアー、体験者のお話。⑦平和学習プログラムおよび教材の開発に関する研究プロジェクト。⑧学芸ミーティング報告。⑦インターン報告。

● リサーチペーパー掲載基準

齊藤壽彦代表理事より、リサーチペーパーの掲載基準について、研究委員会で検討中であることが報告された。

[審議事項]

第1号議題 2022年度の研究費報告と成果報告

議案1 研究費の使途に関する通知と報告の承認

柳理事は、2022年度に配分した研究費の使途および研究成果の報告を行ない、その内容についての審議を理事会に求めた。

理事会は、研究費の学会費への支出を控えることを対象者に求めたうえで、研究費の使途および研究成果の報告を、有効議席7名中7名の賛成で可決した。

第2号議題 大規模修繕について

議案1 (有)アーキッズ一級建築士事務所との契約について

齊藤壽彦代表理事より、6月20日に(有)アーキッズ一級建築士事務所と、大規模修繕（屋根等改修工事）について契約を行なったことが報告された。この契約は、評議員会より契約の権限を付託された理事会の承認を前提になされるべきものであった。しかし、台風シーズンを前に、崩壊部分からの浸水による腐食のリスクなど緊急に工事が必要なことがアーキッズより指摘され、同日に出席した大規模修繕委員長および委員による検討をもとに、理事会の判断を待たずに代表理事による契約書への調印が行なわれた。

齊藤代表理事は、緊急性の根拠を説明したうえで、本契約を事後承認することについて理事会に審議を求めた。

理事会は、審議の結果、有効議席7名中7名の賛成でこの本契約の事後承認を可決した。

第3号議題 東京大空襲・戦災資料センターの体制について

議案1 館長、副館長、運営委員会、名誉職の承認について

石田業務執行理事は、下記の通り東京大空襲・戦災資料センターの人事案を示し、理事会に審議を求めた。

【館長】 吉田裕

【副館長】 大岡聡

【運営委員】 吉田裕・大岡聡・石田博美・比江島大和・梶慶一郎・二瓶治代・工藤芳弘
西尾静子・早川則男・市川広義

【名誉顧問】海老名香葉子

【顧問】高柳新

理事会は、審議の結果、有効議席7名中7名の賛成で、東京大空襲・戦災資料センターの人事案を可決した。

第4号議題 リニューアルHPの検収

議案1 リニューアルHPの検収を行ない、残金の支払いを行なう

柳理事は、リニューアルされたHPおよび管理ページの概要について、これらが正常に機能し、また管理も職員の技術レベルで可能である点を中心に報告を行なった。そのうえで、制作したラディックス株式会社に対し、検収の確認を行ない、契約金の残金を支払うことについて審議を求めた。

理事会は、有効議席7名中7名賛成で、リニューアルされたHPを検収することを可決した。

以上を持って、Web会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年7月28日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



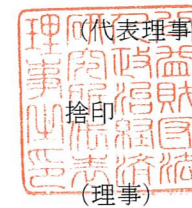
署名人 太田 三郎



比江島 大和



出席監事 井上 礎幸



(監事)



2023年度第6回理事会議事録

2023年9月15日(金)17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いのできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦(議長) 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事9名中9名出席(太田三郎、大岡聡はWeb会議システムによる参加)

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2名中2名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、長谷川理事、福光理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.121およびNo.122の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-2号および26-3号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年9月2日(土)17時～19時、狩野芳伸氏を報告者として「生成系AIは人々の仕事をどのように変えるのか～自然言語処理研究からみた可能性と限界」を、参加費500円として、オンラインで開催したことが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年9月30日14時～16時、柳啓明氏を報告者として、大島社会文化研究室による研究会「19世紀の戦争と先島諸島:日清戦争以前の八重山における開墾事業」が開催されたことが報告された。

● その他研究委員会から

角信明研究員を執筆者として、中小企業問題研究室のリーサーペーパー「『国の財務書類』の研究—国富全体を踏まえた評価の試み—」を発行することが報告された。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

第4回運営委員会: インスタグラム運用については慎重に検討する、都教組の教研集会の地域実行委員長を館長が引き受ける・市川運営委員が今回より出席、生花業者について、開館時間について、全空連の共同代表の以来については館長としてではな

く一橋大大学名誉教授として個人的に引き受ける。

第5回運営委員会:来館状況(7月8日で1500人)Viemoの契約、学芸スタッフの体制強化(学芸員の受付兼任案、新規採用案)、東京大空襲を語り継ぐつどいの講師候補、第73次東京教研集会への協賛について、センターでの署名活動について、体験者のお話が難しい場合の対応について。

● リサーチペーパー掲載基準

齊藤壽彦代表理事より、リーサーペーパーの掲載基準について、研究委員会で検討中であることが報告された。

[審議事項]

第1号議題 2023年度第3回公開研究会

議案1 公開研究会の開催日程の調整

齊藤壽彦代表理事は、2023年度第3回公開研究会を友田信男氏を報告者として、「コロナ禍以降の中小企業の現状(仮)」と題して開催するとともに、その開催日程について代表理事に一任するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 最低賃金の改定に伴う措置

議案1 10月から短時間勤務者の時給を1,080円から1,120円に変更する。

齊藤壽彦代表理事は、東京都の最低賃金が2023年10月から41円引き上げられ1,113円に改定されるのにもない、当財団の短時間勤務者の時給を1,120円に変更するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第3号議題 内閣府提出書類の訂正

議案 決算書及び特定費用準備金の計画を修正する

長谷川理事は、2023年7月27日に内閣府より示された指摘事項に従い、2022年度決算報告の特定費用準備金の計上を修正することを提案した。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第4号議題 11月臨時評議員会の召集について代表理事に一任する

議案1 奨励賞授賞者と授賞式の日時が決まり次第、臨時評議員会の招集を行う。10月理事会において正式承認をして招集する。

齊藤壽彦代表理事は、臨時評議員会の開催日の調整を代表理事に一任し、次回理事会で正式に承認するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第5号議題 定款の変更

議案1 役員及び評議員の会議手当の上限を15,000円から18,000円にする

齊藤壽彦代表理事は、定款第16条に定められている「役員及び評議員の報酬並びに費

用に関する規程」について、1回あたりの会議手当の増額にあわせて18,000円に変更するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第6号議題 賃貸マンションの買い替えについて

議案1 チサンマンション滝野川206号、ガラ・ステージ新大塚401号室の売却および新規物件の購入について

長谷川理事は、財団が所有するチサンマンション滝野川206号室とガラ・ステージ新大塚401号室の現状について説明し、これらの2物件を売却し、その資金で新規物件を購入するとの方針を示した。そして、この方針に基づいて売却先及び新規物件の購入の選択について代表理事に一任するとの提案を行なった。

理事会は、代表理事・執行理事および関係理事が売却先と購入物件を精査選別し、その過程と結果について理事会に報告することを附帯条件としたうえで、本提案を承認することを有効議席8名中8名の賛成で可決した。

第7号議題 科研研究費による旅費規程の変更

議案1 宿泊料を甲地乙地とも15,000円にする

齋藤正美理事は「科研研究費による旅費規程」の第6条に規定されている宿泊料について、物価等の上昇に伴い15,000円に変更するとの提案を行なった。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年 9月22日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 長谷川 元彦



福光 寛



出席監事 井上 礎幸



国吉 昌晴



(監事)



2023年度第7回理事会議事録

2023年10月13日（金）17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美
長谷川元彦 福光寛 柳啓明

理事8名中9名出席（太田三郎、大岡聡はWeb会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 1名中2名出席（井上礎幸はWeb会議システムによる参加）

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田理事、齋藤正美理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.121 および No.122 の進捗状況について報告が行われた。次回の編集委員会は

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-2号および26-3号、26-4号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年11月18日（土）18時30分～20時30分、友田信男氏を報告者として「アフターコロナの事業環境と多様化する企業支援」を、参加費500円として、オンラインで開催することが報告された。

● 各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年9月30日14時～16時、柳啓明氏を報告者として、大島社会文化研究室による研究会「19世紀の戦争と先島諸島：日清戦争以前の八重山における開墾事業」が開催されたことが報告された。

今後の予定として12月に富永望研究員による助成研究成果報告「京大の戦争協力——谷口吉彦の事例——」、1月に合田寛評議員による現代経済研究室研究会「新しい社会主義（仮）」、2月に国吉昌晴監事による東京中小企業研究室研究会「中小企業の現状と中小企業家同友会運動～国の施策をどう動かしてきたか～」、その後齊藤壽彦代表理事「金融機関と借り手企業との信頼関係の構築」、中小企業問題研究室実学研究会「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析——理論と実務の融合の試み——」な

どが行なわれるとした。

● その他研究委員会から

角信明研究員を執筆者とする中小企業問題研究室のリーサーペーパー『『国の財務書類』の研究—国富全体を踏まえた評価の試み—』の進捗、現代経済研究室長に福光理事が就任したこと、リーサーペーパーの掲載基準の審議状況などが報告された。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

10月から受付スタッフとして谷口良さんを採用、団体見学が多く600人を超える来館があった、維持募金に高額募金（100万円、40万円）があった、インターン関係の取材が東京新聞の記事になった、B29爆撃機プラモデルの寄贈、平和学習プログラム岩倉高校、成蹊小学校で実践、沖縄の若梅会からコラボの相談があり前向きに検討、東京空襲80周年事業について検討中、東京空襲を語り継ぐつどいの講師を林博史氏に打診、体験者の高齢化への対応、公益財団東京観光財団「観光施設の国際化支援補助金」。

● 奨励賞受賞者選考結果報告

齋藤正美選考委員会実行委員長は、第7回『政経研究』奨励賞の受賞者および対象論文を、宮田惟史氏（駒澤大学経済学部教授）の著書『マルクスの経済理論：MEGA版『資本論』の可能性』（岩波書店、2023年）に決定したと報告した。

● 中間決算報告

長谷川理事は、2023年9月30日現在の貸借対照表、正味財産増減計算書総括表、累積残高試算表について報告した。

[審議事項]

第1号議題 2023年度臨時評議員会の開催

議案1 2023年度臨時評議員会を開催する。

齊藤壽彦代表理事は、2023年11月10日14時～15時、3階会議室およびオンラインにて、臨時評議員会を開催することを提案した。

理事会は、有効議7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 『政経研究』第7回奨励賞授賞式の開催

議案1 『政経研究』第7回奨励賞授賞式を開催する。

齋藤正美理事（『政経研究』第7回奨励賞選考委員長）は、『政経研究』第7回奨励賞選考委員会が、今年度の『政経研究』奨励賞贈呈の対象論文を宮田惟史『マルクスの経済理論』に決定したことを報告し、11月10日15時30分より『政経研究』第7回奨励賞授賞式を開催する提案を行なった。

理事会は、有効議席7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

第3号議題 賃貸マンション買替の件

議案 賃貸マンション買替の件

長谷川理事は、前回理事会の決議を受けて、一般媒介業者を複数募集したところ3社が応じ、チサンマンション滝野川 206 号室及びガラ・ステージ新大塚 401 号室の売却先を検討し、2023 年 10 月 9 日に条件の良い下記の 2 社と売却契約を結んだことを報告し、理事会に対して売却の承認を求めた。

チサンマンション滝野川 206 号室 2600 万円で平山不動産株式会社と売却契約（仲介 住ステーション浦和）
ガラ・ステージ新大 401 号室 1180 万円で株式会社日本財託と売却契約（仲介 三井不動産レジデンシャル）

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの売却の承認を可決した。

第 4 号議題 『中小企業問題』目次について

議案 1 総目次の発行手続きを研究委員会に一任する。

齊藤壽彦代表理事は『中小企業問題』目次の進捗状況について報告し、これらの発行手続きについて研究委員会に一任する提案を行ない、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

第 5 号議題 福光寛氏の主任研究員への任用について

議案 1 研究委員会からの答申を受け審議する

齊藤壽彦代表理事（研究委員会委員長）は、研究委員会が福光寛氏について、主任研究員にふさわしい研究調査能力等を有し、かつ本研究所の公益事業に寄与すると認められるとの判断をしたことを報告した。そのうえで、同氏を主任研究員として任用することの可否について、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成で、福光寛氏を主任研究員として任用することを可決した。

第 6 号議題 各種研究会の報告者に対する講師謝礼の支払いについて

議案 1 各種研究会の報告者に対する講師謝礼の支払いについて

齊藤壽彦代表理事は、「各種研究会の報告者に対する講師謝礼の支払いの件（案）」を提出し、年間 20 万円を上限とし、各研究室が研究室の外部から講師を呼ぶ場合、年に 2 回、報告 1 回あたり手取り 1 万円の謝礼金を支払えるとの提案を行ない、理事会に審議を求めた。

理事会は、本提案を承認することを有効議席 7 名中 7 名の賛成で可決した。

第 7 号議題 『政経研究時報』の業務委託

議案 1 『政経研究時報』の業務委託

齋藤正美業務執行理事は、澁谷朋樹氏との 2023 年 10 月 1 日～12 月 31 日までの『政経研究時報』26-3 号の編集業務委託に関する業務請負契約を示し、この契約の承認を求めた。

理事会は、有効議席 7 名中 7 名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023 年 10 月 20 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 石田 博美



齋藤 正美



出席監事 国吉 昌晴



(代表理事)



(監事)



2023年度第8回理事会議事録

2023年11月17日（金）17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美
長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事9名中9名出席（太田三郎、大岡聡、長谷川元彦はWeb会議システムによる参加）
出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 1名中2名出席（井上礎幸はWeb会議システムによる参加）

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、福光理事、柳理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事より、No.121 および No.122 の進捗状況について報告が行われた。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-3号および26-4号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年11月18日（土）18時30分～20時30分、友田信男氏を報告者として「アフターコロナの事業環境と多様化する企業支援」を、参加費500円として、オンラインで開催することが報告された。

● 各種研究会

今後の予定として12月に富永望研究員による助成研究成果報告「京大の戦争協力——谷口吉彦の事例——」、1月に合田寛評議員による現代経済研究室研究会「新しい社会主義（仮）」、2月に國吉昌晴監事による東京中小企業研究室研究会「中小企業の現状と中小企業家同友会運動～国の施策をどう動かしてきたか～」、その後齊藤壽彦代表理事「金融機関と借り手企業との信頼関係の構築」、中小企業問題研究室実学研究会「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析——理論と実務の融合の試み——」などが行なわれるとした。

● その他研究委員会から

角信明研究員を執筆者とする中小企業問題研究室のリサーチペーパー『『国の財務書類』の研究—国富全体を踏まえた評価の試み—』の進捗や、研究員登録名簿などについて報告が行われた。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より下記の通り報告が行われた。

- ① 10月の来館者は800名。団体復調。募金は時期的に厳しい。書籍売り上げ良し。
- ② 戦災誌研究会は山本唯人主任研究員の科研終了後も続行。
- ③ 提供・公開に伴う権利処理について。デジタルアーカイブ学会や福井健策弁護士などを参考に。
- ④ 後継者育成事業でトラブルが生じた。
- ⑤ 平和学習プログラムと関連するフィールドワークについて。センター～東陽町の1泊フィールドワークを検討中。
- ⑥ 戦争災害研究室の企画を研究所の公開研究会として開催することを検討中。
- ⑦ 体験者へのアンケートを12月5日に実施。
- ⑧ 80名以上の団体受け入れについて。東京土建の会議室利用など。
- ⑨ 東京大空襲を語り継ぐ集いの実行委員会を12月6日に予定。
- ⑩ アメリカ空軍爆撃関係史料の寄贈申し入れ、江東区の観光マップへの掲載依頼など。

● 奨励賞贈呈式報告

齋藤正美選考委員会実行委員長は、第7回『政経研究』奨励賞贈呈式が開催されたことを報告した。

● 賃貸マンションの買い付け

長谷川理事は、賃貸マンションの売買経過報告を行なった。

[審議事項]

第1号議題 2023年度の一時金の支払いについて

議案1 一時金の支払いについて

齊藤壽彦代表理事は、2023年度の一時金額について説明し、理事会に一時金の支払いを提案した。

理事会は、有効議8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 賃貸マンションの売買について

議案1 買い付けを理事長に一任する

長谷川理事は、代表理事に買い付けを一任する条件について下記の通り説明した。

買付条件

金額 36,500,000円（売却金額から売りの手数料を差し引いた金額）

運用条件すでに賃貸人があるもの・・手取り金額（マンション管理料・修繕積立金等を差し引いた金額）で125000円以上

賃貸管理会社三井不動産コミュニティーを基本とする

紹介物件数3物件まで

同一物件の場合優先順位は財団側で判断する

スケジュール

- 仲介不動産会社への提示・・・11月21日（条件の提示・・・その前に打診はしておく）
- 買付物件の紹介締切り・・・1週間後 10時から1時間
- 1次審査・・・書面で4つくらいに絞る
- 2次審査・・・絞ったものの詳細な情報・・・提案を受ける
- 3次審査・・・優先順位を決めて、現地を訪問する
- 決定予定・・・締切りから1週間程度・・・時間が経つと条件が変わる可能性がある。

齊藤代表理事は、上記の条件で自らに買い付けを一任してもよいか、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第3号議題 リサーチペーパー発行規程について

議案1 リサーチペーパー発行規程の制定

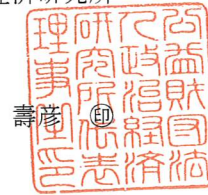
齊藤代表理事は、リサーチペーパー発行規程案について説明し、これを施行してもよいか理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの売却の承認を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年 11月 24日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 福光 寛



柳 啓明



出席監事 国吉 昌晴



(代表理事)



(監事)



2023年度第9回理事会議事録

2023年12月15日(金)17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦(議長) 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事9名中9名出席(太田三郎、大岡聡はWeb会議システムによる参加)

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 井上礎幸 2名中2名出席(井上礎幸はWeb会議システムによる参加)

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、大岡理事、太田理事を選任した。

[報告事項]

- 刊行物について
 - ▼ 編集委員会
齋藤正美理事より、No.121の進捗状況について報告が行われた。
 - ▼ 政経研究時報
齊藤壽彦代表理事より、26-3号および26-4号の進捗状況について報告が行われた。
- 公開研究会
齊藤壽彦代表理事より、2023年11月18日(土)18時30分～20時30分、友田信男氏を報告者として「アフターコロナの事業環境と多様化する企業支援」を、参加費500円として、オンラインで開催したことが報告された。
- 各種研究会
今後の予定として12月16日に富永望研究員による助成研究成果報告「京大の戦争協力——谷口吉彦の事例——」、1月29日に合田寛評議員による現代経済研究室研究会「『新しい社会主義』論について」、2月17日に國吉昌晴監事による東京中小企業研究室研究会「中小企業の現状と中小企業家同友会運動～国の施策をどう動かしてきたか～」、2024年内に中小企業問題研究室実学研究会「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析——理論と実務の融合の試み——」などが行なわれるとした。
- その他研究委員会から
研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について報告が行われた。
- 東京大空襲・戦災資料センター運営報告
石田理事より下記の通り報告が行われた。

①来館者900人、うち海外からは5%。募金はあまり伸びていない。東京都生活協同組合連合が会員に。1～3月は体験者に学校へ話しに来て欲しいという依頼が多い。

②空襲体験の継承事業の進捗

③平和学習プログラムおよび教材の開発

④平和のための博物館市民ネットワーク全国交流会

● 業務執行報告

齊藤壽彦代表理事、齋藤正美業務執行理事より、2023年4月～9月の業務執行報告が行なわれた。

● 賃貸マンションの買い付け報告

長谷川理事は、11月21日～本日の間において、代表理事、執行理事、事務局長により行なわれた賃貸マンションの検討と、アンビシヤス西新井の買い付け申し出を行なったと報告した。

● ハラスメント防止に関する提案

石田執行理事は、事業のなかで「ハラスメント防止規定」と窓口の開設について問い合わせがあり、これについて代表理事・執行理事名で回答したと報告した。

● 雨漏り工事報告

石田執行理事は、雨漏り工事の完了と、アーキッズ社より報告された今後の雨漏りリスクについて報告を行なった。

● 大島資料について

柳事務局長は、12月4日に大井町郷土資料館で行なわれた、資料整理業務の進捗について報告を行なった。

[審議事項]

第1号議題 2023年度第4回公開研究会

議案1 日程及びテーマについて

齊藤壽彦代表理事は、2023年度第4回公開研究会を、自らを報告者として、「金融機関と借り手企業との信頼関係の構築」をテーマに、2023年3月内に開催することを提案した。


理事会は、有効議8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2023年 12月 22日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦 

署名人 大岡 聡 

太田三郎 

出席監事 国吉 昌晴 

井上 礎幸 



(代表理事)

押印

(理事)



(監事)



2023年度第10回理事会議事録

2024年1月19日（金）17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 齋藤正美
長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明
理事9名中7名出席

出席監事は以下の通りである。

国吉昌晴 2名中~~1~~²名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、比江島理事、長谷川理事を選任した。

[報告事項]

● 刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、『政経研究』No.121の刊行、No.122の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討、依頼する査読者の範囲や依頼の方法について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-4号の進捗状況について報告が行われた。

● 公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、自らを報告者とする2023年度第4回公開研究会は、3月2日（土）に開催されると報告が行なわれた。また、第1回、第2回の候補者についてもすでに検討中であると報告された。

● 各種研究会

今後の予定として、1月29日に合田寛評議員による現代経済研究室研究会「『新しい社会主義』論について」、2月17日に國吉昌晴監事による東京中小企業研究室研究会「中小企業の現状と中小企業家同友会運動～国の施策をどう動かしてきたか～」、4月27日に中小企業問題研究室実学研究会「ピンチをチャンスに変える秘訣の分析—理論と実務の融合の試み—」、4月に国際問題研究室「中国の不動産問題の現状（仮）」、6月に石居泰幸「現代企業の現状と課題」などが行なわれるとした。

● その他研究委員会から

研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について報告が行なわれた。

● 東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事よりセンターの運営報告が行なわれた。

● 賃貸マンションの買い付け報告

長谷川理事は、12月25日に、買主当財団・売主株式会社大正ハウジング・取引業者有限会社住ステーション浦和として、アンビシャス西新井319号室の売買契約書を結んだと報告した。

● 大規模修繕委員会報告

齋藤正美執行理事は1月12日に行なわれた大規模修繕委員会について、アーキッズ社に修繕の説明をしてもらい、今後の関係について話し合うとの方針が示されたと報告した。

● 四半期決算の報告

長谷川理事は、第3四半期決算の報告を行なった。

[審議事項]

第1号議題 澁谷朋樹氏との業務請負契約について

議案1 2024年1月1日～2024年3月31日までの業務請負契約

齋藤正美執行理事は、2024年1月1日～2024年3月31日までの期間、澁谷氏との間に『政経研究時報』編集の業務請負契約を結ぶとの提案を行なった。

理事会は、有効議席6名中6名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 2024年度研究費配分

議案1 配分予算の決定



齊藤壽彦代表理事は、2024年度の研究費配分予算を80万円とし、2月1日～3月20日の間応募を行なうとの提案を行なった。



理事会は、有効議席6名中6名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024年 1月26日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦 

署名人 比江島大和 
長谷川元彦 

出席監事 国吉 昌晴 
井上 礎幸 


代表理事
押印
(理事)


押印


押印

(監事)


押印


押印

2023年度第11回理事会議事録

2024年2月16日（金）17時00分～19時00分、東京都江東区北砂1-5-4 公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦（議長） 石田博美 大岡聡 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事9名中9名出席（大岡、太田、柳はWeb会議システムによる参加）

出席監事は以下の通りである。

國吉昌晴 2名中1名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、齋藤正美理事、福光寛理事を選任した。

[報告事項]

- 刊行物について
 - ▼ 編集委員会
齋藤正美理事は、No.122の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討、査読者への報酬について審議が行われたと報告した。
 - ▼ 政経研究時報
齊藤壽彦代表理事より、26-4号、27-1号の進捗状況について報告が行われた。
- 公開研究会
齊藤壽彦代表理事より、自らを報告者とする2023年度第4回公開研究会は、3月2日（土）に開催されると報告が行なわれた。また、2024年度第1回は審議事項で検討する。
- 各種研究会
今後の予定として、2月17日に國吉昌晴監事による東京中小企業研究室研究会「中小企業の現状と中小企業家同友会運動～国の施策をどう動かしてきたか～」が開催されるほか、複数の企画が進行中であると報告された。
- その他研究委員会から
研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について報告が行なわれた。
- 東京大空襲・戦災資料センター運営報告
石田理事よりセンターの運営報告が行なわれた。
- 賃貸マンションの買い付け報告
長谷川理事は、アンビシャス西新井（319号室）の購入に関わる、残代金支払い、固定資産税等・管理費等清算書、オーナーチェンジ関係計算書について報告を行った。

[審議事項]

第1号議題 公開研究会について

議案1 2024年度第1回公開研究会を実施する

齊藤壽彦代表理事は、2024年度第1回公開研究会を、田中信孝氏（岩手県立大教授）を報告者に「国際問題について」を仮題として、2024年5月中に開催すると提案した。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 2024年3月定時評議員会の開催について

議案1 評議員会の開催日程

齊藤壽彦代表理事は、2024年3月定時評議員会を2024年3月14日（木）17時～19時に開催することを提案した。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成でこの提案を可決した。

第3号議題 2024年度事業計画案について

議案1 2024年度事業計画案を議決する

齋藤正美理事は、公益目的事業Ⅰ、収益事業、組織整備の計画を、石田理事は公益目的事業Ⅱの計画を報告し、これを評議員会に提出する件について、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成で2024年度事業計画書案を評議員会に提出することを可決した。

第4号議題





議案1 2024年度予算案について

長谷川理事は、2024年度予算案について報告し、これを評議員会に提出する件について、理事会に審議を求めた。

理事会は、有効議席8名中8名の賛成で2024年度予算案を評議員会に提出することを可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024年 2月 24日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦 
署名人 齋藤 正美 
福光 寛 
出席監事 国吉 昌晴 



(監事)



2023年度第12回理事会議事録

2024年3月14日(木)15時00分～16時00分、東京都江東区北砂1-5-4公益財団法人政治経済研究所会議室およびオンライン上において理事会を開催した。

事務局は開会を宣し、本日の理事会は出席者が次のとおり定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。また、Web会議システムにより出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり、一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明がお互いにできる状態となっていることを確認した。

齊藤壽彦(議長) 石田博美 太田三郎 齋藤正美

長谷川元彦 比江島大和 福光寛 柳啓明

理事8名中8名出席(太田、比江島はWeb会議システムによる参加)

出席監事は以下の通りである。

井上礎幸 国吉昌晴 2名中2名出席

ただし、議案中決議を要する事項について、本人が該当者ならびに特別の利害関係を有する場合は議決権を行使できないものとした。

代表理事が議長となり、就任挨拶および開会挨拶を行った。また議長は、議事録署名人として、石田博美理事、柳啓明理事を選任した。

[報告事項]

●刊行物について

▼ 編集委員会

齋藤正美理事は、No.122とNo.123の進捗状況、新たな連載特集のテーマの検討、編集委員の人事について審議が行われたと報告した。

▼ 政経研究時報

齊藤壽彦代表理事より、26-4号、27-1号の進捗状況について報告が行われた。

●公開研究会

齊藤壽彦代表理事より、2023年度第4回公開研究会の開催および2024年度第1回公開研究会の予定について報告が行われた。また、2024年度第2回公開研究会については審議事項で検討する。

●各種研究会

齊藤壽彦代表理事より、今後の予定として、3月25日に江原慶氏による現代経済研究室研究報告「脱成長論のマルクス経済学的検討」、3月29日に浦田賢治主任研究員による憲法研究室研究会「核兵器・戦争権限・憲法: どう読むべきか、何をすべきか」の開催予定が報告された。

●大島資料について

柳理事より、ふじみ野市教育委員会と同大井郷土資料館が、当財団に対する資料寄贈の依頼書を提出するべく、調整中であるとの報告がなされた。

●その他研究委員会から

研究員登録名簿、『中小企業問題』総目次の進捗について報告が行なわれた。

●東京大空襲・戦災資料センター運営報告

石田理事より、開催中の企画展「東京の学童疎開」(3月31日まで)のイベント「疎開児童の寮母となって～柏木文代さんの戦争体験～」が、また3月10日東京大空襲関連のイベントとして、3月3日に「東京空襲犠牲者の名前を読み上げ、心に刻む集い・2024」、3月9日に「東京大空襲を語り継ぐつどい」、3月10日に「八木健一氏によるハーブ鎮魂演奏、体験者亀谷敏子さんのお話」が開催されたことが報告された。

●ハラスメント関連対応について

石田理事より、相談窓口の担当者の選任、相談窓口専用アドレスの設置、ハラスメント対応の流れ、ハラスメントの防止を目的とした研修の開催について報告が行われた。

●大規模修繕委員会

齋藤正美理事より、2月26日に屋根等修繕工事を行ったアーキッズ社の白井氏から工事箇所について概要の説明を受け、今後の修繕対策についての見解等を聞いたことが報告された。

[審議事項]

第1号議題 公開研究会について

議案1 2024年度第2回公開研究会を開催する

齊藤壽彦代表理事は、2024年度第2回公開研究会を、深沢映司氏(国会図書館立法考査局専門調査員)を報告者に「消費税の減税・廃止論をどのように考えるか—所得税との比較による論点整理—」を仮題として、2024年8月26日14時～16時に開催すると提案した。

理事会は、有効議席7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

第2号議題 渋谷朋樹氏との業務請負契約について

議案1 2024年4月1日～2024年6月30日までの業務請負契約

齋藤正美業務執行理事は、2024年4月1日～2024年6月30日までの間、渋谷氏との間に『政経研究時報』27-1号編集の業務請負契約を結ぶとの提案を行った。

理事会は、有効議席7名中7名の賛成でこの提案を可決した。

以上を持って、Web 会議システムを用いた本理事会は、終始異常なく議案全部を終了した。
以上の議決を明確にするために、議長、議事録署名人及び出席監事は記名押印する。

2024 年 3 月 24 日
公益財団法人政治経済研究所

議長 齊藤 壽彦



署名人 柳 啓明



石田 博美



出席監事 井上 礎幸



国吉 昌晴



(理事)



(監事)

